１．教育計画

分野	専門分野　地域・在宅看護論	科目名	暮らしと願いに寄り添う看護プランニング
単位・時間	１単位・15 時間	対象学年	２年生
方法	講義	時期	前期
講師名 （担当授業時間数）	法人講師　渋谷　常美　　（2時間） 専任教員　藤原　智亜紀　（12 時間）		
講師の実務経験	藤原：看護師として他病院に 16 年、星総合病院に３年		
学習目標	1．在宅で療養する人々を支える看護の考え方を理解すし、必要なケアの抽出をする方法を学ぶことができる 2．在宅ケアチームの中の看護の在り方を意識し、多職種連携の方法をイメージできる ３．ケアマネジャーの役割とケアプラン作成について理解する		
成績評価方法	筆記試験・提出課題 出席状況・授業態度・提出物の期限厳守等も評価に含む		
使用テキスト	医学書院：系統看護学講座 地域・在宅看護論【1】地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論【2】地域・在宅看護の実践		
参考文献	資料は随時配布する		
履修上の留意	「在宅で療養する人々を支える実習」に直結する看護過程の大切な講義です。実習を有意義にするために、集中して学びましょう。		
講師からのメッセージ	オレムのセルフケア理論を基にした、看護展開を演習しながら学びます。ヘンダーソンとは違う視点で対象と家族について捉えることで、看護の視野を広げましょう。		

２．授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	担当者
1	2	在宅看護過程の特徴・セルフケア理論	オレム・アンダーウッドセルフケアモデルについて・なぜセルフケア理論を用いるか？	講義	藤原
2	2	暮らしの中の看護の情報	暮らしの中の看護の情報を捉える視点・７つのアセスメントとセルフケアレベルについて	演習	
3	2	必要な看護の抽出と計画①	セルフケア理論を用いた看護のアセスメントの方法（1） 事例を使って、アセスメントを体験しましょう	講義 演習	〃
4	2	必要な看護の抽出と計画②	セルフケア理論を用いた看護のアセスメントの方法（2） 事例を使って、アセスメントを体験しましょう	講義 演習	〃

回	時間	主題	授業内容	形態	担当者
5	2	看護の専門性を活かした実践計画を考える①	暮らしを支え続ける看護プランの特徴 事例を使って、看護の専門性を発揮し暮らしを支える看護プランを考えよう	講義 演習	藤原
6	2	看護の専門性を活かした実践計画を考える②	事例を使って、在宅ケアチームの連携方法を考えよう	講義 演習	〃
7	2	ケアマネジャーの活動	居宅介護支援事業所とは ケアマネジャーの役割 ケアマネジャーの活動の実際 多職種連携の実際	講義	渋谷
8	2	評価	筆記試験		藤原